

Radio On The Street
西谷文和

路上のラジオ ファンクラブニュース

2022.3.8 第10号

発行責任者：西谷文和

連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33

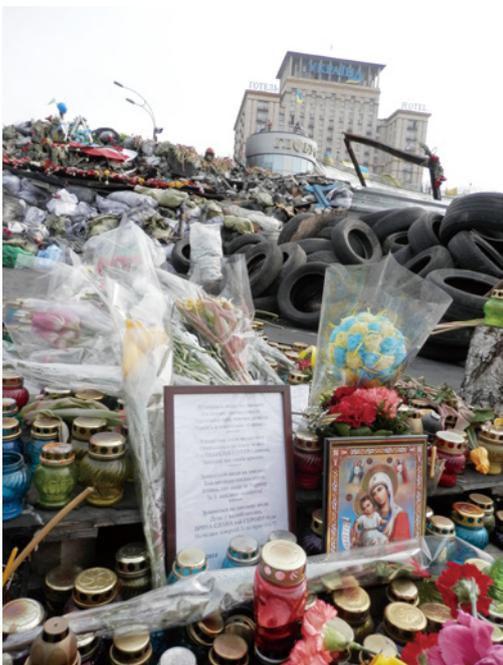
TEL 06-6170-4757

メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。

ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索してください。YOU TUBE で聞けます。チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせが来るので便利です。



14年のキエフ・独立広場。平和的なデモがなぜか銃撃戦になり、多数の人々が犠牲になっていた

ロシアがウクライナに侵攻し、多くの犠牲者が出ています。私は2014年3月、首都キエフを取材したことがあります。あの時もプーチンが「クリミア半島、およびドンバス地方（ウクライナ東部）の住民がロシア軍に救済を求めている」というフェイクニュースを流し、軍事力で併合してしまいました。元々の発端はヤヌコビッチ大統領に対する抗議運動でした。13年末から首都キエフの独立広場に市民が集まり、「ヤヌコビッチ退陣」を求めるデモが続いたのです。ヤヌコビッチはロ

シアと通じ、汚職で巨万の富を築いた独裁者。いわば「プーチンの手下」を、民衆蜂起で打ち倒そうとする革命でした。
.....平和なデモが殺し合いに.....
ところが平和的なデモに、なぜか「右派セクター」と呼ばれる暴力集団が紛れ込み、彼らが火炎瓶を警官隊に投げつけて、逆に治安警察がデモ隊に発砲。治安警察、市民の双方で多数の犠牲者が出ました。この「右派セクター」はスキンヘッドにカギ十字という出で立ちで「反ロシア」を訴えました。この騒動を利用して、プーチンが「ウクライナがネオナチに乗っ取られようとしている。ロシア系住民は虐殺されるかもしれない」と偽ニュースで危機を煽ったのです。

そしてクリミア半島、ドンバス地方に住むロシア系住民が「ウクライナかロシア、どちらの帰属を求めるか」というヤラセ住民投票を実施、「住民はロシアへの帰属を望んでいる」とロシア軍が介入してクリミア半島略奪、という結果になったのです。

.....スターリンの強制移住で.....
クリミア半島とドンバス地方にはロシア系住民が多数住んでいます。これは旧ソ連時代のスターリンが、クリミアに住んでいたトルコ系タタール人をシベリアに強制移住させてロシア系を移住させたこと、ドンバス地方の石炭や鉄鉱石を掘り出すためにロシア系労働者を使ったことが関係しています。スターリンはウクライナで生産された食料をモスクワに供出させ、農業国のウクライナで約300万人が餓死するという悲劇も生み出しています。さらに第2次世界大戦中にヒトラーの迫害から逃れようと、ポーランドから大量にユダヤ人が流入しました。その後商売上手なユダヤ人が都市部に住み着い

ウクライナに平和を 日本は積極的平和外交で戦争を止めよ

て一定の成功を収めます。農民が主体のウクライナ人にとって、旧ソ連への恨み、ユダヤ人へのやつかみが少なからずあります。なので「ネオナチ的な人々」が一定数いるのでしようが、大多数の人々は「ロシア系もユダヤもタタールも、みんな違ってみんないい。俺たちはこの国で仲良く平和に暮らしたいだけなんだ」と考えています。プーチンによる軍事侵略に対して、彼らは今後も毅然として抵抗運動を続けるでしょう。

反戦デモでプーチンを追い詰めるよ

おそらく経済制裁はそれほど有効な手立てにはなりません。プーチンが一番嫌がるのは「民衆の平和的な抵抗運動」です。モスクワはじめロシア各地で戦争反対の集会やデモが自然発生的に多発し、約3千名の市民が拘束されても（2月27日現在）人々は抵抗を止めようとはしていません。この勇気あるデモは世界中の反戦平和を求める人々を励まし、各地で大規模な集会が開催されていきます。そうなればロシア内部で反プーチンの勢力を励ますことになり、「プーチン失脚」の足がかりが作れます。日本は平和憲法を持つ国で、欧米諸国と違って、直接モスクワで戦火を交えたことがありません。も

し自民党政権ではなく野党連合政権であつたなら、「ウクライナ和平に向けた東京会議」を開催し、そこに当事国の代表者を招いて、和平へのロードマップを作ることができるとしよう。戦争を止めるのは積極的平和外交、つまり第3国の介入が一番の近道です。ちなみにアフガン戦争の収束はカタールの平和会議が決め

小出先生に聞く その5 日本原電(株)ってどんな会社なのですか？

—今日は福井県の敦賀原発2号機についてお尋ねします。この原発はどこが所有しているのですか？

小出 日本原子力発電(株)が持っています。

—関西電力ではないのですかね？

小出 そうです。少し歴史をさかのぼってお話をします。1945年8月6日に広島、9日に長崎に原爆が落とされて、戦争が終わったわけですが、米国は戦争後もどんどん核兵器を作り続けました。大きな原爆、さらには水爆までを作ったわけですよ。旧ソ連も米国に対抗して49年8月には原爆を完成させました。やがて冷戦の時代になりました。米国も旧ソ連もたくさん核兵器を製造しまし

手でした。パレスチナとイスラエルの間に入ってオスロ合意を導いたのはノルウェーでした。「自民党政権ではなく、9条を守り育てる野党連合政権だったらなー」と、先の総選挙で政権交代できなかった悔しさを感じます。

「路上のラジオ」では、今後もウ

た。そうこうしているうちにウランを濃縮している工場にウランが余りすぎてしまったのです。米国は53年12月8日に、アイゼンハワー大統領(当時)が国連で「アトムズフォーピース(平和のための原子力)」という演説をしまして、「これからは原子力の時代だ」とブチあげたのです。しかし「平和のため」と言いながら、米国はどんどん原爆、水爆を作り続けていくのです。54年の3月1日にはビキニ環礁でブラボーという巨大な水爆実験を行いました。マ

グロ漁船の「第五福竜丸」に大量の放射能が降り注ぎ、乗組員だった久保山愛吉さんが被曝してお亡くなりになりました。ほとんどの日本人

クライナ戦争の詳細、なぜロシアはチェルノブイリ原発を占拠したのか、タリバン後のアフガンで何が起きているのか、沖縄の基地はなぜ拡張されてしまうのか、台湾危機を煽る政治家たちの魂胆、など大手メディアが報じないファクトを発信していきたいと考えています。引き続きご愛聴をよろしくお願いいたします。

は今でもご存知ないのですが、被爆したのは「第五福竜丸」だけでなく、1千隻近いマグロ漁船が被曝しているのです。

—千隻も！

小出 そうです。ただこのニュースが日本にまだ届いていない3月2日、当時の改進黨の若手代議士だった中曾根康弘さんが「原子炉建造予算」を突然国会に提出しまして、特別な議論もないまま成立してしまつたのです。こうなるとお金の周りにたくさんの人たちが集まって来る。

—オリンピックと一緒ですね(笑)

小出 よく似ていると思います。それで日本も原子力の時代に入つていく。原子力発電をやるうとしたわけ

ですが、じゃあ誰がやるんだ？東京電力、関西電力？と考えたわけですが、やはりみんな怖かった。自分一人ではやりたくないの、日本原子力発電（株）をみんなでデッチ上げで、そこがやることにしよう。57年11月1日に日本原子力発電（株）、通称日本原電ができて、とにかくみんな金儲けもリスクも一蓮托生で受け持つて行こう、ということになったのです。

——誰も責任が取れないし、取りたくないの窮余の策として作った会社

小出 そうです（苦笑）。

——生まれた時から原子カマラの無責任体質。それで日本原電が持っている敦賀原発2号機は断層の上に建っているのでは？

小出 はい、その前に歴史的なことを。まず日本原電ですが、日本で最初の東海原発を66年にスタートさせました。この東海原発は「ガス冷却炉」と呼ばれている特殊な原子炉なのです。

——ガスで冷却？水ではなく？

小出 イギリスが原爆の材料であるプルトニウムを作り出すために運転していた特殊な原子炉なのですが、それを日本原電が最初に掴んだのです。でもこれは金儲けには適さない（苦笑）というので、70年に敦賀原発を作りました。これは福島と同

じ、日本で初めての沸騰水型。その後78年になって東海第2原発という沸騰水型を作ったのですが、これは日本初の100万キロワットを超える巨大な原発になりました。その次に今日のテーマである敦賀原発2号機を作ったのですが、これは加圧水型なのです。主に関西電力が使っている加圧水型もまた日本原電が保有することになりました。

——メーカーは三菱でしたな

小出 そうです。関西電力は加圧水型しか持っていないし、東京電力は沸騰水型しか持っていない。どこの電力会社も一つの型の原発しか持っていない。日本原電だけが、ガス冷却炉、沸騰水型、加圧水型を持つ非常に特殊な会社なのです。そして敦賀原発は1号機も2号機も活断層の上にあるのです。当時はあまり気にしないまま作ってしまったのでし

ようが、現地に行けばわかっていただけだと思いますが、「まさに断層の上だな」と感じる地形のところに敦賀原発は建っています。

——リアス式海岸で風光明媚なところですよ。

小出 はい。敦賀湾という北に開いた湾の一部に、小さな南に開いた湾があります。浦底湾というのですが、そこは「浦底断層」という活断層によって作られた場所なのです。ここ

に敦賀原発を建ててしまった。

——48年に福井大地震がありました。まだ地震の記憶も新しい時によくこんなところに建てたものですね。

小出 その議論するのであれば、もう日本中、地震から逃れられる場所などないので（苦笑）

——その通りです。今回、ボーリングをして活断層の調査、データを分析していたのですが、日本原電は1千カ所を超える誤記があって、80カ所もの書き換えをしていたのですよ。

小出（苦笑しながら）断層については原電自身が調査をしたのではなく、専門の調査会社に調査をさせたわけです。調査会社は「活断層らしい」という報告書を出している。それを原電が「活断層ではないと思われる」と書き換えてしまった。つまり改ざんをやったのです。

——一番やってはいけないことをやった。報道によれば「未固結」を「固結」に変えた。「まだ固まっていない」というデータを「固まっている」と。

小出 「未固結」というのは、グズグズとなっていて断層の疑いがあるということ。これを原電が「固結」に変えて、地盤はしっかりと固まっている。80カ所のうち55カ所で改ざんを行いました。

——調査の意味がないじゃないですか。

小出 そうです。さすがに原子力規

制委員会、別名「原子力推進委員会」と呼ばれているところでも、これはやっぱりまずい、と。それで再稼働に関する審査を中断することになったのです。

——更田会長が「科学的作法に基づいてもらわないと話にならない」と、「規制」委員会の人でさえ、苦言を呈しています。確か日本原電は2年前に立ち入り検査も受けています。大変恥ずかしいことになっていますね。

小出 とても恥ずかしいことですが、日本原電としては東海と敦賀に4つの原発を持っていたわけです。このうち東海第1は98年に停止して廃炉処理に入っています。敦賀第1も2015年には運転停止。残っているのは東海第2とこの敦賀第2しかないわけです。東海第2は78年に動き始めたので、すでに43年が経過した老朽原発なのです。にも関わらず「規制」委員会は再稼働のお墨付きを与えてしまいました。ところが東海第2は東京駅から110〜120キロしか離れていない。150キロの円を描くと首都圏が全部入ってしまいます。半径30キロの円には94万人の人が住んでいる。事故になれば避難は絶対にできません。防災計画なんて立てようがないという立地条件です。今年3月に水

編集長のひとり言

ウクライナで戦争が勃発し、平穏な市民の暮らしが踏みじられ、罪もない命がいくとも簡単に葬り去られていきます。「路上のラジオ」では、西谷さんご専門のアフガンの惨状も伝え続ける中で、画面の中ではない、戦争の「リアル」について発信をしていますから、当然にして、この戦争についても強い怒りを覚えます。そもそもドローンが極めて正確に人を殺し、クリックひとつで国が吹き飛ばす時代において、愚かな権力者たちは一体何の勝負をつけようというのでしょうか。その中であってキエフの市民は、今日も砲撃に怯えながら、火炎瓶を作っているのだとい

います。
片方で世界はSDGsを叫び、片方で破滅への道を選択するわけです。愚かしいことですが、私たちが今持ちうる最も尊い武器は「言葉」であり、それを使って戦いを続けたいと思います。絵空事でしようか？そうは思いません。思想家の内田樹さんも当番組の緊急特番の中で、1枚の写真が、1行のメールが、世界を動かす時代に私たちはいるのだと発言なさいました。国際世論が大きくなるとなり、権力者たちを牽制する中で愚行を改めさせることができる信じたいですね。スウエーデンでグレタ・トゥーンベリさんが、たったひとりですうしたように。

もうひとつ、個人的な話になることをお許しいただきたいのですが、今、心の「芯の温度」について思うことがあります。人間ほど豊かな感情を持つ動物もそうはいないと思います。だからこそ憎しみ合うこともあるのだと思います
が、頭で理論的に考え得ることの他に、どうにも抗えない、人としてのやわらかな良心があるのも事実です。私は3人の子どもたち（今ではもう成人していますが）、赤ちゃんの頃から可能な限り抱きしめ、懐に入れて、互いが体温を感じるように育てようと努めました。この小さな灯のような体温が、どうか一生彼らの心の芯で、仄かであつてもいいから燃えていて欲しいと願っています。いつだって信じて守るといふ彼らとの約束が私の体温だったのならば、彼らが行く道に迷い困り果てたときに、胸に手を当てて答えを求めてくれたらと思っています。形は違えど心の芯に残るあたたかいものが、あなたにもきつとあると思います。そのかがり火を頼りに、Now Warを叫び続けてほしいのです。
(ディレクター・山本素)

戸地裁が「東海第2は動かしてはいけない」という判決を下しました。つまりもう動かないのです。そうすると日本原電としては敦賀2号機にすぎりつくしかないとことになりました。なんとこれもこれを動かしたいと思いつつ今日まで、データを変更するなり何なりしながらしてきました、ということですが。
——森友学園で公文書を改ざんされて、断層でも。政府も原子力ムラも体質は同じですね(苦笑)。311

の地震後、敦賀も東海も止まった日本原電は、1キロワットの電気も作っていないでしょ？
小出 そうです、10年間1キロワットの電気も作っていません。
——普通なら、潰れるじゃないですか。
小出 日本原電は、他の電力会社が引き受けられないことを一蓮托生でやろうとして作った会社です。なので原発が動こうと動かまいと、基本料金のようなものを各電力会社が支出するという形で設立されています。

発電しようが何だろうが潰れない、という形になっています。
——東京電力、関西電力などが会費を払い続けているから潰れない
小出 そうです。ただし福島事故後、新規制基準なるものができて、再稼働するには様々な装置を新たにしなければならぬ。例えば東海第二では2〜3千億円のお金がかかる、ということになりました。しかし日本原電にはそんなお金がないということ、何と東京電力が肩代わりす

るということになりました。本来なら福島事故後に倒産させるべきだった東京電力。そんな会社が日本原電を助けるということになっています。
——被災者への補償も進んでいないのに日本原電にお金を突っ込んでいくのですか？
小出 そうです。
——全て電気代という形で私たちが回収しているのですか？2重3重に許せない話です。
小出 はい、私はそう思います。

編集後記

アフガンの首都カブールは物乞いの人でいっぱいだった。アメリカの経済制裁が原因だ。アメリカは一方的に撤退して、一方的な制裁で市井の人々を苦しめている。そんな中でもタリバン幹部は豊かな暮らしを享受していた。ロシアへの制裁も普通の人々が苦しむだけで、プーチンとその周辺が飢えることはない。必要なのは制裁よりも人道支援(アフガン)、第3国が介入した停戦協議(ウクライナ)だ。今はウクライナで核兵器が使われないことを祈るのみだ。